

2020年5月11日

2020年度のプロの昇降級に関して

4月の運営委員会を受け、本年度のプロ選手の昇降級に関し、競技監査委員会から選手会に対し下記の点についての意見を求め、その取り扱いを決めた。

◎降級

新型コロナの影響を受け、競技会回数が少なくなるため本年度の降級は以下の様にする。

- ① 降級なしにする
- ② 少なくとも1試合の出場で現級維持とする
- ③ 中止になった試合分を出場免除とみなして、最低出場数から減算する（4月時点であれば4-2(広島・徳島)で2試合の出場で現級維持)

新型コロナの終息以降、少しでも競技会に出てもらうことを考えれば②又は③がよい。ただ①～③のいずれを選択しても今年度の降級はほぼないものと思われる。

◎昇級

昇級に関しては、昇降級規定では中止試合があるとボーダーが下がるため今後も中止試合が増えれば、出場すれば昇級する、又は多数の昇級者が生じる事が予想される。そうすると降級はなく、昇級者のみとなり上位級の割合がさらに高まり、次年度以降の下位級のクラス別競技会に面白みが欠けるものとなる懸念が生じる。

例年D級戦では選手数が少なく不成立が重なり、このような事態を生じる。しかしながら最低出場試合数（降級の試合数と同じ）に満たないため1試合や2試合のみの出場で昇級ポイントを獲得したとしても、その場合は昇級を見送りとなる。今回の場合、最低出場試合数が0となれば出場すれば昇級という可能性が高まる。

そのため昇級に関しては、今後開催できる試合数にとらわれず、

- ① 現時点どおりとする（多数の昇級者が出る可能性あり）
- ② 獲得したポイントのもっとも高い者1組を昇級とする
- ③ 獲得したポイントの高い者から上位2組を昇級とする

②又は③は競争も生じる。

最終的に昇降級会議で判断するという一文は入れておくにせよ、おおよその判断基準はあらかじめ作成しておいた方がよいと思われる。

参考までに現時点でのクラス別のカップル登録者数を記す。

<ボールルーム>

A級 19組 B級 10組 C級 4組 D級 3組

<ラテン>

A級 10組 B級 4組 C級 2組 D級 5組

<選手会からの意見・回答>

◎降級

③中止になった試合分を出場免除とみなして、最低出場数から減算する。

この方式が希望です。

◎昇級

②獲得したポイントのもっとも高い者1組を昇級とする

③獲得したポイントの高い者から上位2組を昇級とする

②と③の間がいいという意見が多数でした。

2位のポイントが1位のポイントに僅差の場合などは昇降級会議にて2位の選手も昇級にしてほしいということです。僅差でないにしても、昇級を目指してみんながんばっているので、可能であれば2位も昇級にしてほしいというのが本音です。

以上を選手会の意見として扱っていただきますよう、よろしくお願い致します。

以上より

降級に関しては、中止になった試合分を出場免除とみなして最低出場数から減算するものとする。また昇級に関しては、獲得したポイントのもっとも高い者1組を昇級とするが、僅差の場合は年末に開催する昇降級会議で諮る。

5月度のJDC西部総局運営委員会で承認が得られ2020年度はこの方式を基準とする。

いずれにせよ、本年は特別な事情及び判断であり、今後の状況次第ではさらに臨機応変な対応が必要となる。

JDC 西部総局競技監査委員会 橋本英行